

中津南高等学校同窓会報

はく白楊



編集・発行 大分県立中津南高等学校同窓会 事務局/中津市高畑2093番地 TEL (0979) 22-0224 FAX (0979) 23-4678 http://www.minamikou.net/ E-mail:nakatsuminami\_alumni@yahoo.co.jp 印刷/高橋印刷所

ご挨拶



同窓会会長 小南 弘

師走を迎え冬の寒気が身にしみる頃となりました。同窓の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて昨年、一昨年とコロナ禍のため書面表決での定時総会を行いました。今年3年ぶりに小幡記念図書館にて開催することが出来ました。会務、決算、監査報告の後、今年度の会務計画案、予算案が審議され無事に承認されました。

また10月9日には高38生のご尽力のもと「再会で・幸会」のテーマで3年ぶりに「同窓のつどい」を200名を超える方に参加して頂き開催することが出来ました。最初にプロの講師による黒田官兵衛にまつわる講演をして頂きました。地元歴史のお話でしたので皆さん熱心に聞き入っていました。その後の

懇親会では皆さん久しぶりの再会に喜び合いながら楽しい思い出に残る良い時間を過ごすことが出来ました。また11月12日にはこちら3年ぶりに南高関西同窓会の「同窓のつどい」が開催されました。皆さん和気あいあいとしてお互いの親睦と交流を更に深められたのも楽しい会でした。

この2年「同窓のつどい」は開催されませんでした。南高の生徒には出来る限りの支援をして参りました。コロナ禍でしたので空気清浄機を全クラスに電子黒板を2教室に設置致しました。クラブ活動においては全国大会出場の生徒には激励金を贈呈しました。これ以外にも生徒の為に色々と支援してまいりました。

このように在校生に支援できたのも皆様のご協力のおかげです。これからも生徒のためしてあげたいのが沢山ありますので今後とも引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。 来年、中津南高は中津中学から教えて130周年を迎えます。同窓会も記念事業の応援をします。その節目は絶大なるご支援をお願い申し上げます。またこの



ご挨拶



校長 小池 楠男

本年度、大分西高校から異動してまいりました小池楠男です。同窓生の皆様には、平素より母校の教育の振興と発展に多大なご支援を頂戴しておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、本校は、これまでの長い歴史と伝統の中で、地域の中核校としての役割を果たすとともに、大分県内はもとより、国内外において活躍する幾多の優秀な卒業生を送り出してまいりました。そのような先輩方の後に続け、在校生も刻苦勉勵、鋭意努力しております。

学習面では、本紙4頁に記載のとおり、国公立の最難関・難関大学との合格をはじめ、防衛大学校や有私大、公務員などに進み、夢を実現しています。また、部活動面では、高い加入率を維持し、運動部、

文化部ともに上位大会への出場や個性豊かな活動により、多方面から高い評価を得ています。特筆すべきは、部活動生の国公立大学の合格者が例年75%前後を示していることです。後輩たちも「文武両道の中津南高校」の名をしっかりと受け継いでいます。これもひとえに、「コロナ禍で閉塞感の漂う中、ICT機器やロボット対策器具などの寄贈、或いは部活動の上位大会出場者への激励金の贈呈など、同窓生の皆様の物心両面にわたる温かいご支援の賜物です。本当に感謝の念に堪えません。

私は、東北を代表する高校としての本校の使命は「これまでの歴史と伝統を継承しつつ、新しい時代の教育に果敢とチャレンジし、次代を担う真のリーダーを育成する」ことにあると考えます。その実現のためには、日々の教育活動を充実させることはもちろんのこと、グローバル教育やキャリア教育を今以上に推進することが必要です。更に、学校標語である「笑顔と挨拶もいやり」の下で人権感覚を養い、人間性を豊かに育むことも欠かせません。在校生には、中津南での学びを礎により広い世界に羽ばたくことはもとより、いずれ大分県内や地元に戻って、修業の成果を地方創生に役立ててくれるものと期待しています。そのためにも、教職員が一致団結して歴史と伝統を礎に逞しい人材を育む学校づくりに邁進いたします所存です。

在校生は、先輩方がそうであったように、日々校舎や校庭から八面山や求菩提山、遠くは英彦山を仰ぎ、周防灘に注ぐ山国川の清流を間近に感じながら、無限の可能性を秘めた将来に思いを馳せて志を強くしています。来年度学校創立130周年を迎えますが、本校にふさわしい周年行事となるように準備を進めているところです。同窓生の皆様には、何かとご協力を頂戴することもありますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、依然出口の見えないコロナ禍にあり憐れだしい中にも多くの方々に本紙の編集発行にご尽力賜りましたことに深く感謝申し上げますとともに、同窓生の皆様がこの「白楊」を通して母校に思いを寄せられることで、一層の絆が深まりますことを祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

2023年度 同窓会主要行事予定

総会 とき 2023年7月1日(土) ところ ヴィラルーチェ 出席者 役員・理事

同窓のつどい とき 2023年10月28日(土) ところ ヴィラルーチェ 幹事 高校39回生

各地の同窓会 関東同窓会 10月14日(土) 関西同窓会 11月12日(日) 北九州同窓会 未定

同窓会役員名簿 (令和4年6月25日改選)

Table with columns: 役職名, 氏名, 回生. Lists members like 名誉会長 和田 仁人, 会長 小南 弘, etc.

【事務局】

Table with columns: 事務局員, 氏名, 回生. Lists staff like 事務局員 長野 勝司, etc.

訃報

令和4年5月8日に中津南高同窓会名誉会長 長野耕作氏(高1回生)が逝去されました。生前の同窓会への多大なる貢献に心より感謝し、謹んでお悔やみ申し上げます。

同窓会への寄付

中津市本耶馬溪町にお住いの元事務職員の方の河野清春様が、令和2年度から入学式・卒業式などの学校行事の際に同窓会に寄付金を持ってこられています。その総額が10万円を超えました。

同窓会費の案内 年会費 1000円以上 3,000円以上

# 令和4年度 「同窓のつどい」 再会(さいかい)で幸会(さいかい)

高校38回生実行委員長  
半田 慎一郎



去る10月9日(日)、ヴィアージュにて開催しました令和4年度「同窓のつどい」に際し、会員の皆様には多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私たちは令和元年10月の「同窓のつどい」終了後、37回生の先輩方より親切丁寧な引継ぎを受けました。その後実行委員会を立ち上げ、同年12月には最初の定例会を開き準備を進めて参りました。更に同級生への周知とスタッフ確保のため、翌年1月に38回生の同窓会を開きました。遠くは関東や関西からも参加があり、「同窓のつどい」に向けて機運を高める良い機会となりました。しかし2月に入り新型コロナウイルス感染拡大の影響で世の中の自粛ムードが高まり、対面での実行委員会の開催が困難を伴うこととなりました。4月には「同窓のつどい」の延期が決定し、実行委員会も暫しのお休みとなりました。

## 再会(さいかい)で幸会(さいかい)



折には、皆様にご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。

私たちが、3年ぶりに多くの同窓生が一堂に会することに大きな幸せを感じ、この思いを皆様と分かち合いたいという思いを込めてこのテーマとなりました。時節柄オンラインでの開催が主となるが、互いに「ツイカル」デスタンスの確保できる内容とし、はじめに講師 神田紅氏による赤壁で有名な合元寺にまつわる講話を楽しんでもらい、歓談時は穏やかに過ごせるよう地元演奏家によりピアノとフルートを演奏していただきました。最後に来年度当番幹事の決意表明をしていただき、楽しい宴が終了しました。



去る10月9日(日)と定め、実質5ヶ月間という短い期間で準備を行うことになりました。しかしながらコロナ禍による制約があり、また頻りに顔を合

わせることができず、もつぱらその活動は今風にオンライン中心となりました。広告協賛のお願いも例年とは異なり郵便・メール動画サイトの活用などを駆使して準備期間の短縮を図りました。その折には、皆様にご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。

# いま、耶馬溪がアツい!!

平成29年4月28日、中津市・玖珠町にまたがる広大な景勝地・耶馬溪の歴史や文化を語るストーリー「やばけい遊覧〜大地に描いた山水絵巻の道をゆく〜」が日本遺産に認定されました。

みなさん、いま、その日本を代表する景勝地、耶馬溪がアツいのです！ もちろん、気候の事ではありません。何が、どのようにアツいのかご説明いたします。

## 名勝耶馬溪指定100年

文化財保護法では、「庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの」のうち重要なものを国指定・名勝としています。

令和4年11月1日時点で全国には427の名勝が存在します。最初の指定は、大正11年(1922年)3月で三保の松原や錦帯橋など7つの名勝でした。そしてその翌年、大正12年(1923年)3月7日に耶馬溪が名勝指定されました。九州では初でした。

そうです、耶馬溪は来年3月に国の名勝指定100年を迎えるのです。

中津市歴史博物館(なかはく)では、奇岩の溪谷「耶馬溪」に刻まれた物語を「大耶馬溪博覧会」と銘打ち、令和4年度1年をかけて様々な展示を展開し、ゴールの令和5年3月を目指して耶馬溪の魅力を掘り下げていきます。

100年目の誕生日を迎える頃、先人からバトンを受け継いだ私達が目指すべき道がきつとみえてくるはずです!

## 大耶馬溪博覧会

| 企画展                        | 期 間                        | 内 容   |
|----------------------------|----------------------------|---|
| やばのみほとけ                    | 令和4年4月20日(休)～6月5日(日)       | 古代から近世に至るまで、耶馬溪に祀られてきた神仏を一同に展示し、聖地としての耶馬溪を見つめ直す。                      |
| 枋洞穴と縄文の人生                  | 令和4年7月9日(休)～8月21日(日)       | 縄文人骨68体を検出した稀有な遺跡「枋洞穴」が発見から50年が経過したのを機に再評価するとともに、貴重な資料をもとに縄文人の人生を考える。 |
| 土豪の城<br>-豊前武士と戦国動乱-        | 令和4年9月23日(金)～11月6日(日)      | 中津市域における中近世城館跡の調査成果をもとに、戦国時代から近世初頭に築かれた城や激動の時代を生き抜いた土豪の実像に迫る。         |
| なかつ南画万華鏡                   | 令和4年11月19日(休)～令和5年1月15日(日) | 正行寺の僧雲華の作品を中心に、田能村竹田らによる豊後南画や南画のもととなった南宋画等中国伝来の絵画を展示し、南画の魅力を紹介する。     |
| 岩石の王国<br>-耶馬溪はなぜ国名勝になったのか- | 令和5年1月21日(休)～3月12日(日)      | 100年前、耶馬溪はなぜ国の名勝となったのか。明治～大正～昭和初期、一大観光地「耶馬溪」をつくりあげた人々を追う。             |

## 耶馬溪橋国の重要文化財指定

文化審議会は、令和4年5月20日、本耶馬溪の耶馬溪橋(通称:オランダ橋)を国の重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申し、9月20日付の官報告示で正式に重要文化財に指定されました。

耶馬溪橋は、大正12年(1923年)3月29日に竣工した8連のアーチを有するわが国に現存する最長の石造アーチ橋で、度重なる大規模な洪水にも耐え、今なお地域の交通を支える美しい姿は名勝の景観によく映えています。

そして、なんと、耶馬溪橋は、耶馬溪の観光開発が進められる中、大正12年に建設された我が国最初期の観光道路施設だったのです!(みなさん、知ってました?) 最初期のと言いますのは、明確に断定するだけの資料が残っていないからで、私の心の中では国内初の観光道路施設です。

## 今後の取組

「名勝耶馬溪」「耶馬溪橋」は、ともに令和5年3月に100年を迎えます。中津市歴史博物館では、令和5年1月21日～3月12日に名勝耶馬溪指定100周年を記念した企画展「岩石の王国-耶馬溪はなぜ国名勝になったのか-」を開催し、展示の中で、耶馬溪橋にもスポットをあてる計画です。耶馬溪橋は地域への橋の価値、そして名勝耶馬溪の価値を、皆様知って頂きたいと思っています!



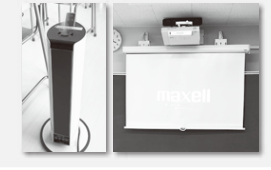
黒永 俊弘(高36回生)

## 同窓会より 母校に寄贈しました

令和3年度の学校支援事業として、電子黒板一式と加湿器10台を中津南高に寄贈しました。

コロナ禍が厳しくなる中、生徒の集中を促すために、少人数で個別の教室で行えるようにという目的で電子黒板を選択教室に1台寄贈しました。

また、教室の乾燥を防ぐ目的で3年生へは昨年度、残りの1年生・2年生の教室には本年度加湿器を寄贈しました。



## 全国大会激励金贈呈

全国総文に出場したかるた部の2名と全国体育大会に出場した卓球部の2名に中津南高同窓会から激励金をお渡しいたしました。



ふるさとには遠きこゝろに思ふもの

# 南高同窓会 地区だより



## 関東

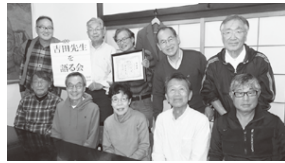
### 最後の講義

還暦になるとともに妙に故郷が恋しく、旧友らとの交流が楽しくなるもの。吉田先生に感謝する旨は「恩師が今も日田で病床にある吉田先生を見舞い、吉田先生は、最後の講義をしてくださいました。先生は魏志倭人伝の口語訳から作成された年表や資料を何枚か用意され、九州地図を壁に掛けて準備されていた。ご自身の体力をかえりみず、その授業は5時間に及び、殺気立つものを感じたときであった。

吉田先生は南高に着任したときはまだ教師にならないうつぱい教師でなかったかもしれないとおっしゃっていました。「先生、それは逆です。よき生徒でなかった我々をよく指導してくださいました」。先生には感謝の念でいっぱいである。

関東に在住して50年。同級生や恩師との交流はひとときでも故郷の空間に浸らせていくのが関東同窓会である。来年こそは開催したいものである。

(\*2023年10月14日予定)  
関東同窓会副会長  
安田 喜根(高25回生)



谷中墓地、野寛永寺、谷根千を散策し、日暮れに小料理屋で会食、旧交を温めた。折しも、この日は関西同窓会総会も催されていて、その会場から



## 関西

去る11月12日(土)、令和4年度「関西同窓のつどい」をハートンホテル西梅田 Restaurant Garden (大阪市北区)にて開催いたしました。

ご来賓として小南同窓会長、小池校長、奥村事務局長、関東同窓会青木顧問(高8回生)、大分県大阪事務所田崎次長、関西大分県人会濱永副会長にお越しいただき、集まった31名の同窓生とともに楽しいひと時を過ごしました。

第一部講演会として、豊岡市議会 養本みどり議員(高37回生)を講師にお招きし、「中津を出て36年、なぜ豊岡市で市議会議員になったのか」というテーマで講演いただきました。

高校を卒業して進学する際に「決して中津には戻らない」と決意したエピソード、ご主人の転勤に伴って、知らない土地での職探しや資格取得に苦労した経験などを話され、さまざまな経験を通して行き辛さを抱え孤立している人が多い現状をなんとかしたいという思いで市議会議員選挙に立候補し、ご家族の理解や支えもあり、新人でトップ当選を果たしたことなどをお話になりました。

写真撮影の後、第二部の懇親会では、岩丸関西同窓会会長(高21回生)の挨拶、来賓として小南会長、小池校長からご祝辞を賜りました。続いて板山関西同窓会名誉会



長(高14回生)から乾杯のご発声いただきました。美味しい食事とお酒をいただいた中、福引きや行いななかつ燦燦市場から取り寄せた耶馬美人や、丸ポロなどの地元の名産品を参加者の皆様にお持ち帰りいただき、参加者の皆様から一言ずつご挨拶をいただきました。

板山貴夫様(洋画家)からは、徳川家康公生誕四百八十年記念「日光東照宮賜ふ」ことなしの美」(奉納美術作品永代貸与事業)に洋画「阿弥陀如来様」が奉納されたことが紹介されました。

予定していた時間があつという間に過ぎ、最後に全員で校歌を斉唱し、最年長の柳川陽史様(高6回生)のご発声で万歳三唱を行い、お開きとなりました。

「関西同窓のつどい」はコロナ禍により2年続けて開催することが出来ず、3年ぶりも今回より当番幹事制を導入することとなり、37回生が最初の当番幹事として今回の開催準備を行いました。開催準備にあたっては、事務局と当番幹事でリモート会議を行うなど、時代の変化に応じた新しい方法も取り入れております。今後も「関西同窓のつどい」を開催していくためには、次の世代に当番幹事を引き継いでいけるような工夫が必要となります。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

令和4年度「関西同窓のつどい」実行委員長  
都甲 圭史(高37回生)



11月12日(土)に開催された「関西同窓のつどい」の様子。

## トピックス

高8回生で、中津南高同窓会顧問を務めている青木行雄様が作成されたCD「温泉大分日本一」と「美しき山国川」の2曲がカラオケのDAMに2022年11月7日に登録されました。皆様、カラオケに行かれました際には故郷大分・中津を思い出してください。

い浮かべて是非ともこの歌を聞いて頂きたいと思えます。

又、新しいCD「大分豊の国」と「やばけい遊覧」の2曲もこの8月に新発売され、近々DAMに登録される予定です。いずれも大分の歌「芦花子」の替え歌「お馴染みの歌「芦花子」さんが美しい声で歌われています。ご期待ください。



## 北九州

令和4年9月28日世話人会を開催いたしました。16名が参加し楽しい時間を過ごしました。約半年ぶりの開催でした。その報告事項は①令和5年度の総会開催については難しい。②世話人会は、コロナの感染状況により随時開催する予定です。

令和2年2月頃にコロナ感染が、テレビ報道されてから、2年10カ月。11月現在8波の感染流行が始まっていますと専門家が発表していました。また、政府は人の行動制限を解除して経済を活性化しようとしています。しかし、人々の移動が活性化すると、

感染者は増えてくるようです。また来年はインフレがさらに加速し、社会経済状況が変更していく可能性があります。日本での治療薬は、いまだに完成されていません。感染症の流れが治まるのは5年以上必要との説もあります。

物価上昇が続いて会費設定、会場選定などきびしい課題に対応していかなければなりません。

中津南高等学校北九州同窓会は、新型コロナ禍で令和4年にも昨年同様開催できませんでしたが、コロナ感染の早期終息を願っております。

事務局世話人 岩崎 誠(高19回生)

## 在校生と同窓生とのWeb交流会

一昨年よりはじめました。中津南高同窓会Web交流会を2022年は1回開催しました。これまでの開催回数は計5回になりました。いずれもZoomを使い、同窓生からの講話のあと、在校生からの質問に回答する形で行いました。

### 第5回 2022年3月17日(木)

高65回生の山口 拓人さん(ヤンマー)、重松 優二さん(中津市役所)



山口さんは農業機械メーカーヤンマーに勤務の傍ら、週末にはミツバチを育てる週末養蜂家としても活躍中です。重松さんは現在は中津市役所本耶馬溪支所で地域活性化を目指して活躍中です。2人とも高校時代に抱いた夢に向かって挑戦し、それぞれで活躍する場を見つけた方々でした。

生徒は、夢をもつこと、挑戦することの大切さを感じていました。質問も多く出され、予定していた時間を大幅に超えてしまいました。

今後も引き続きこのような交流会を行っていきたく思いますので、参加希望・お問い合わせは、同窓会事務局までお願いします。

nakatuminami\_alumni@yahoo.co.jp

## 令和5年度に創立130周年を迎えます

中津南高は、明治26年(1893年)に中津尋常中学校として開校し、令和5年度(2023年度)に、創立130周年を迎えます。

現在、記念事業の実施に向けて、学校、同窓会、PTAで準備を進めております。現在の進捗状況は以下の通りです。

**基本理念** 「130年の歴史と伝統を礎に、持続可能な社会の実現に挑む」

**記念式典** 令和5年(2023年)10月28日(土)本校体育館

**記念講演の講師** 坂山 憲史(さかやまけんし)氏 高校32回生

版画家・調理師・医学博士(なつもの順)  
社会医療法人仁友会南松山病院副院長・理事  
愛媛県柔道協会評議員、愛媛県ラグビーフットボール協会医務委員長・理事  
愛媛大学柔道部顧問、医学部柔道部・医学部ラグビー部名誉顧問  
スポーツジャーナリスト二宮清純氏が「知り合いの医者が」という人物。

**記念事業** 具体的な事業内容については、現在検討を重ねているところですが、130周年の記念となり、かつ在校生に有益なものとなるように計画しています。



※年明け頃に榊旭出版より記念事業の趣意書とともに、寄付金のご案内を発送させていただきますので、皆様のご協力をお願い致します。

# 主な部活動実績

令和4年度 部活動の主な結果

### 【運動部】

| 部活動     | 大会名  | 種目・部門           | 成績                   |                 |
|---------|--|-----------------|----------------------|-----------------|
| 水 泳     | 第70回大分県高等学校総合体育大会  | 女子50m自由形        | 1位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子100m自由形       | 1位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子100m平泳ぎ       | 1位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子200m平泳ぎ       | 1位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子4×100mメドレーリレー | 2位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子400m自由形       | 6位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子800m自由形       | 4位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子100m背泳ぎ       | 5位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子200m背泳ぎ       | 4位(九州総体)             |                 |
|         |  | 女子4×100mリレー     | 4位(九州総体)             |                 |
|         | 第70回全九州高等学校水泳競技大会<br>令和4年度大分県高等学校新人水泳競技大会<br>令和4年度全九州高等学校選手権新人水泳競技大会 | 男子100m背泳ぎ       | 6位                   |                 |
|         |  | 男子200m背泳ぎ       | 7位                   |                 |
|         |  | 女子100m自由形       | 6位                   |                 |
|         |  | 男子50m背泳ぎ        | 5位(九州新人)             |                 |
|         |  | 男子100m背泳ぎ       | 5位                   |                 |
|         |  | 男子200m背泳ぎ       | 5位(九州新人)             |                 |
|         |  | 女子50m平泳ぎ        | 2位                   |                 |
|         |  | 女子100m平泳ぎ       | 1位(九州新人)             |                 |
|         |  | 女子200m平泳ぎ       | 1位(九州新人)             |                 |
|         |  | 弓 道             | 令和4年度大分県高等学校新人弓道競技大会 | 男子団体            |
| 女子団体    | ベスト8   |                 |                      |                 |
| 空手道     | 男子個人形  |                 | 3位(九州総体)             |                 |
|         | 男子学校対抗   |                 | 3位                   |                 |
| 卓 球     | 第70回大分県高等学校総合体育大会  |                 | 女子学校対抗               | 2位(九州総体)        |
|         |  |                 | 女子シングルス              | 3位(2名)(九州・全国総体) |
|         |  |                 | 女子シングルス              | ベスト4            |
|         |  |                 | 女子シングルス              | ベスト8(2名)        |
|         | 令和4年度全日本選手権(ジュニアの部)大分県予選   | 女子1年シングルス       | 1位                   |                 |
|         |  | 女子2年シングルス       | 3位(2名)               |                 |
|         | 令和4年度大分県高等学校1・2年生卓球大会  | 男子1年シングルス       | ベスト8                 |                 |
|         |  | 男子学校対抗          | 3位(九州新人)             |                 |
|         | 令和4年度大分県高等学校新人卓球競技大会   | 女子学校対抗          | 2位(九州新人)             |                 |
|         |  | 男子ダブルス          | ベスト8                 |                 |
| 女子ダブルス  |  | 1位              |                      |                 |
| 女子シングルス |  | 2位              |                      |                 |
|         |  |                 | ベスト8(2名)             |                 |

### 【文化部】

| 部活動 | 大会名                                | 成績                        |
|-----|------------------------------------|---------------------------|
| かるた | 第46回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門大分県代表選考会 | 選抜(2名)(全国総文)              |
|     | 第44回全国高等学校選手権大会小倉百人一首競技かるた         | 個人戦A級ベスト4                 |
| 吹奏楽 | 第6回全九州高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門大分県代表選考会 | 選抜(3名)(九州総文)              |
|     | 第18回南九州吹奏楽コンテスト大分県予選 小編成部門         | 金賞(南九州コンテスト)              |
| 書 道 | 第18回南九州吹奏楽コンテスト大分大会 小編成部門          | 銀賞                        |
|     | 第58回高文連席上揮毫大会                      | 推奨(5名)                    |
| 科 学 | 第56回高野山読書大会                        | 全日本書道連盟賞<br>特撰<br>準特選(2名) |
|     | 第63回科学クラブ研究発表大会                    | 金賞(4名)                    |
|     | 物理部門                               | 優秀賞(九州大会出場)               |
|     | 物理部門                               | 優良賞                       |
|     | 化学部門                               | 優良賞                       |



水泳部



吹奏楽部



剣道部



弓道部



卓球部 男子



弓道部



卓球部 女子



弓道部

## 開扇祭



3年ぶりの開催、南北親善球技大会!



## 主な合格実績

筑波大・大阪大・神戸大・九州大学・  
医学部医学科3名・薬学部6名合格

| 学 校 等 | 合格者数  |
|-------|-------|
| 筑波大   | 1     |
| 千葉大   | 1     |
| 山梨大   | 1     |
| 大阪大   | 2     |
| 大阪教育大 | 1     |
| 神戸大   | 3(1)  |
| 鳥取大   | 1     |
| 島根大   | 1     |
| 岡山大   | 2     |
| 広島大   | 8(1)  |
| 山口大   | 6(2)  |
| 徳島大   | 1     |
| 香川大   | 1     |
| 愛媛大   | 1     |
| 福岡教育大 | 2     |
| 九州大   | 6(1)  |
| 九州工大  | 5     |
| 佐賀大   | 1     |
| 長崎大   | 6(1)  |
| 熊本大   | 13    |
| 大分大   | 19(1) |
| 宮崎大   | 11    |
| 鹿児島大  | 1     |
| 合計    | 94(7) |

| 学 校 等     | 合格者数  |
|-----------|-------|
| 会津大       | 1     |
| 福島県立医科大   | 1     |
| 静岡県立大     | 1     |
| 大阪公立大     | 1     |
| 神戸市外大     | 1     |
| 神戸市看護大    | 1     |
| 兵庫県立大     | 1     |
| 公立鳥取環境大   | 1     |
| 岡山県立大     | 1     |
| 叡啓大       | 1     |
| 福山市立大     | 1     |
| 下関市立大     | 3     |
| 山口県立大     | 4     |
| 山口東京理科大   | 2(1)  |
| 香川県立保健医療大 | 1     |
| 北九州市立大    | 8     |
| 九州歯科大     | 1     |
| 福岡県立大     | 3     |
| 長崎県立大     | 2     |
| 大分看護科学大   | 1     |
| 宮崎公立大     | 3     |
| 合計        | 39(1) |

| 学 校 等 | 合格者数   |
|-------|--------|
| 青山学院大 | 1      |
| 慶応義塾大 | 1      |
| 学習院大  | 1      |
| 法政大   | 1      |
| 明治大   | 2(1)   |
| 立教大   | 1      |
| 同志社大  | 7      |
| 立命館大  | 22(2)  |
| 関西大   | 7(1)   |
| 関西学院大 | 9      |
| 西南学院大 | 11     |
| 福岡大   | 45     |
| その他私大 | 235(1) |
| 合計    | 343(5) |

| 短大・専門学校 | 合格者数 |
|---------|------|
| 合計      | 17   |

| 準大学 | 合格者数 |
|-----|------|
| 防衛大 | 1    |
| 合計  | 1    |

※ ( ) は現着者で外数です。

令和4年度入試合格者総数

国立大 133名 私立大 343名